

広報委員会が皆さんと一緒に考えたい！

★未来のエネルギーのこと★

年々拡大する台風・豪雨・熱中症などの気象災害、またこのコロナ危機を経験して、このままの暮らしぶりでもいいのだろうか？と考えた方はどれだけいるのでしょうか。今、日本は今後のエネルギー基本計画において大きな転換を求められています。

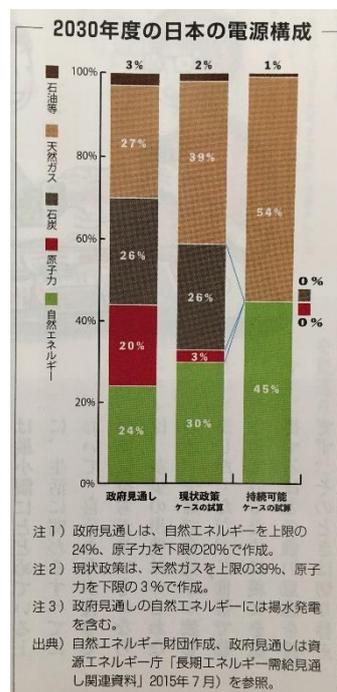
今月の特集記事では、公益財団法人「自然エネルギー財団」常務理事を務める大野輝之さんが持続可能なエネルギー計画の実現のためには何が重要なのかを述べています。

【政府案】

30年度までに温室効果ガス排出を13年度比で26%削減目標実現のための電源構成比（エネルギーミックス）は右の通り

【大野さんが指摘するポイント】

- ① “26%” という目標自体が世界基準と比べて低すぎる
- ② 石炭火力…現状より下げ26%としているが、全電力供給量の30%以上を満たす設備容量があり、さらに新設中のものもある。政府は“高効率”な設備のみ残すと表明したが、CO2 排出量は数%しか変わらない。欧米では全ての石炭火力の利用をやめる政策が広がっている。日本もこれに倣うべき。
- ③ 原発…20~22%としているが、原発事故後すでに21基の廃炉が決まっています、残り33基も安全性審査の難航や周辺住民の反対などで稼働できないものも多く、現在も約6%の供給に留まっている。30年度にはせいぜい最大7%程度にしかならない。



CO2 排出量を削減するために、市民にできることは何だろうか？

この問題に関心を向け、自然エネルギーの電源を選ぶことがまず第一歩！



あなたも生活クラブでんきの仲間になりませんか？

クリーンな電力で暮らせるって、とても気持ちが良いですよ！

今年度の目標加入数31名中、現在17名が加入。

あなたもぜひ☆ お待ちしています！



☆ライフプラン講座を開催しました☆

NPO 法人.Wo.FP の会の講師をお呼びし「サステナブルな家計」「公的年金と自分年金」のテーマで講座を開催。

初の長浜市・東近江市・近江八幡市での開催ということもあり、初めて顔を合わせる組合員も多かったよう♪

「サステナブルな家計」講座では家計管理のための作業シートの書き方を学び、持続可能な家計を実現するためのポイント(家計を見直す時にご主人のお小遣いから減らすとモチベーションが下がっちゃうので注意～(笑)など)を、「公的年金と自分年金」ではめまぐるしく変化していく年金制度の基本的な仕組みから自分でできる老後への備えの方法など、今日から使える話が盛りだくさん！参加者同士で普段なかなか他人と話すことの少ない“家計”や“お金”に対する疑問や思いをシェアする場面も。家族で持続可能な家計を考えることや、しっかりセーフティネットを張っておくことの大切さを知りました。最近キャッシュレス支払いも多くなり、お金の種類が何種類あるかわからない子どももいるそうです。親子でお金について学べる講座も来年度開催したいなあ～♪



☆クリスマス&お正月試食会～10月学区会～☆

10月の学区会で「クリスマス&お正月の消費材試食会」を行いました。クリスマスケーキ、ボルシチ缶、ピザ、チキンナゲット、クリスマスかまぼこ、伊達巻といった共通メニューの他に、普段の消費材を使ってオリジナルメニューを作った学区もありました♡

試食会というよりランチ会?!といえるほど、皆でたくさん美味しいものを食べて、おしゃべりしてさきどりクリスマス&お正月パーティーとなりました♪

地域のみんなで作っていく学区会。来年もたくさんの組合員の出会いの場所となりますように！



★新型コロナ感染拡大に伴う生活に困窮する方々への支援カンパ★

8月24日より実施されたカンパ活動。当初、約1か月で1,000万円を目標に始めた企画でしたが、9月末の終了時点で、滋賀からは195名より142,000円が、全体としては延べ19,899人から総計26,462,000円の支援金が集まりました。

支援金は第一次助成として、フードバンクや児童養護施設などの12団体を通じて生活に困窮する方々へ届けられ、今後も随時助成が実施されていきます！

